

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の介護技術の向上とモチベーションをあげること。	内部・外部研修を充実させ、ひとりひとりの介護力の向上と資格取得者の拡大を目指す。	職員の外部研修の参加機会を増やす。また無資格者に対し、資格取得を促すことで介護サービスや介護ケアに対するモチベーションをあげていきたい。それにより介護技術の向上も更に目指したい。	12ヶ月
2	33	利用者様の状態が重度化した場合や終末期の対応に関して。	事業所としての指針を、家族様の思いを十分に心から受け止め丁寧に説明し、理解を得る	家族様および指定機関の協力を得ながら、事業所として対応できる範囲や、入居しながら受けられる医療の範囲等を具体的に家族様に説明し、終末期への共通理解をもつようにする。終末期の看取り希望にこたえるために、職員全員が必要とされる知識と技術の習得を目指す。	12ヶ月
3	35	災害対策に関して。	災害全般に関しては、定期的に模擬訓練を行う。特に火災については、全職員が消防機器の扱いと手順を習得する。	新人職員や新入居者様に対し、避難手順や方法を確認するために定期的な訓練をする。防災訓練に関しては、年2回以上の消防訓練に加え、防災設備の手順確認や消火機器の使い方を全職員が習得する場を、年に複数回設けるようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。